

二次分析研究会2016 参加者公募型研究 成果報告会

現代日本の格差と不平等に関するデータの二次分析

■ 概要:

1955年から10年ごとに実施されてきた「社会階層と社会移動全国調査」(SSM調査)のデータの二次分析について、1995年SSM調査の研究代表者をアドバイザーに迎え、戦後日本の不平等のトレンドや現代日本の格差の実態を解明することを狙いとした二次分析の成果を報告します。

■ 日時/場所:

2017年2月5日(日) 13:00 - 17:00

東京大学(本郷キャンパス) 赤門総合研究棟5階 549 センター会議室

■ プログラム:

13:00- 開会の挨拶(盛山和夫/東京大学名誉教授)

第1部 13:05-14:35

◆コメンテータ: 古田和久(新潟大学)

13:05- (1)「子ども期の家庭環境・大学進学が地域間格差に与える影響」

(戸田淳仁/リクルートワークス研究所)

13:35- (2)「出身大学の学校歴が初職に与える影響の再検討——大学での専攻分野に着目して」

(豊永耕平/東京大学)

14:05- (3)「教育社会における機会の認知構造——出身階層と学歴に着目して」

(山口泰史/東京大学)

第2部 14:45-15:45

◆コメンテータ: 竹ノ下弘久(上智大学)

14:45- (4)「地位へのマッチングからみる賃金格差の生成過程——企業規模と雇用形態に着目して」

(麦山亮太/東京大学)

15:15- (5)「自営業層における職業による所得構造の趨勢」(仲修平/日本学術振興会・東京大学)

第3部 16:00-17:00

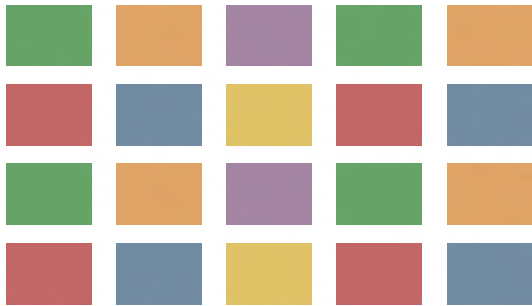
◆コメンテータ: 村上あかね(桃山学院大学)

16:00- (6)「仕事における自律性の検討とその影響」(樋口あゆみ/東京大学)

16:30- (7)「労働市場の変化からみる学歴同類結合の趨勢」(打越文弥/東京大学)

■ 参加をご希望される場合は、お申込みをお願いいたします。

■ お申込方法: お名前、ご所属、職位または学年を、s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp までご連絡ください。



二次分析研究会2016 参加者公募型研究 成果報告会

現代日本の格差と不平等に関するデータの二次分析

■ 概要:

1955年から10年ごとに実施されてきた「社会階層と社会移動全国調査」(SSM調査)のデータの二次分析について、1995年SSM調査の研究代表者をアドバイザーに迎え、戦後日本の不平等のトレンドや現代日本の格差の実態を解明することを狙いとした二次分析の成果を報告します。

■ 日時/場所:

2017年2月15日(水) 13:00 - 18:00

東京大学(本郷キャンパス) 赤門総合研究棟5階 549 センター会議室

■ プログラム:

13:00- 開会の挨拶(盛山和夫/東京大学名誉教授)

第1部 13:05-14:35

◆コメンテータ: 佐藤香(東京大学)

13:05- (1)「戦後女性の職業移動」(朝岡誠/立教大学)

13:35- (2)「SSM調査2005年における満足度尺度に関する一考察——満足度の高低が影響する行動とは」
(久保隆志/日本福祉大学)

14:05- (3)「資格取得性向の推移と現代的特性」(武内建人/東京大学)

第2部 14:45-16:15

◆コメンテータ: 平沢和司(北海道大学)

14:45- (4)「大学進学の効果——効果の異質性に注目して」(森いづみ/東京大学)

15:15- (5)「大学等中退に階層差はみられるか」(下瀬川陽/東京大学)

15:45- (6)「地域移動者の職業経歴の学歴別・時代別分析」(林川友貴/東京大学)

第3部 16:30-18:00

◆コメンテータ: 田中隆一(東京大学)

16:30- (7)「労働市場における潜在的な地位とその変化——企業規模間格差から雇用形態間格差へ？」
(鈴木恭子/東京大学)

17:00- (8)「夫の勤務先特性からみた妻の離職メカニズム」(田中茜/東北大学)

17:30- (9)「勤続年数分布は何に規定されるのか——分位点回帰分析を用いた検討」(福井康貴/東京大学)

■ 事前の申し込みは不要です

■ お問い合わせは、s-analysis@iss.u-tokyo.ac.jp まで